

地域における青少年の居場所づくり事業に資する有識者派遣事業(概要)

<p>事業概要</p>	<p>平成27年8月に開催した「大阪市青少年問題協議会」において、区と局が連携し、青少年の居場所づくりによる非行防止と、立ち直り支援についての事業展開についての意見を受け、その際、今日的な課題として、核家族化を含め、青少年の育ちに地域や周辺の大人の関わりが希薄化しており、公的な受け皿ではなく、地域で運営される場所がツールとして重要であることが確認された。</p> <p>審議会での意見を踏まえ、各区内で「こどもの居場所」を趣旨に含む事業の検討や実施状況を確認したところ、各区でも必要性は認知されており、それぞれ独自で事業の展開検討がなされていることがわかり、地域団体等が行っている事業や、局からのサポートについて、当局より各区へ照会したところ、有識者への相談や講演会などを地域などで実施することで、目的が達成しやすくなるとのことから、専門家やコーディネーターの派遣を望む意見が複数あったことを受け、有識者派遣事業を実施する運びとなった。</p>	
<p>事業実施方法</p>	<p>区に対して希望調査を行い、その結果を基に選考のうえ、有識者の派遣先を決定し、実際に青少年が求める事業形態を明らかにして具体的な事業展開に繋げる。</p>	
<p>有識者の専門テーマ</p>	<p>寺子屋を核に、学習支援だけではなく地域交流型子育て支援、子どもの能力開発、母親のQOL向上支援、子育てに役立つ情報提供、人材育成など</p>	<p>大阪大学教授 森栗 茂一 氏</p>
	<p>子どもたちに様々な経験をさせるとともに、居心地の良い居場所づくりという理念のもと、地域子育て支援を通じて世代間交流の推進や出産から高齢者までの共生福祉のまちづくりなど</p>	<p>NPO法人 ハートフレンド 代表 徳谷 章子 氏</p>
	<p>子どもを家庭でも学校でもない第三の居場所という考え方を軸にそこに参加する子どもたちに、自らの知的関心を引出し、主体的に考えることを促し、他者との関わり方を通じてコミュニケーション能力や人間関係形成能力の向上を推進することを目的とし哲学的な対話法を学ぶワークショップや「こどもの哲学」の実践など</p>	<p>大阪大学准教授 本間 直樹 氏</p>
	<p>子ども若者問題(不登校・ニート・ひきこもり・貧困問題等)の支援、NPOや行政の中間支援など</p>	<p>一般社団法人 officeドーナツトーク 代表 田中 俊英 氏</p>
	<p>学習支援等を通じた子育て支援や子ども食堂の運営や支援など</p>	<p>NPO法人 ブレンヒューマニティー 理事長 能島 裕介 氏</p>